

三井不動産（MF）が運営・管理を行なう物流施設の
アースデイ 2024 での取り組み（外壁サイネージの消灯）について

アースデイとは

アースデイとは、1970年にアメリカのG.ネルソン上院議員が発案し、4月22日を「地球の日」としたことを宣言したことを契機に広まった活動です。地球環境を考え、個人それぞれができることをするという多種多様なスタイルが特徴で、全世界で地球環境を考えるさまざまな催しが4月22日に開かれています。

MFLP・MFIPのアースデイ2024への取り組み

三井不動産は、本取り組みの地球環境保護への考え方に共感し、様々な人の目に留まる物流施設における節電活動として、2024年4月22日（月）のアースデイに合わせて、MFLP・MFIP（全国8都府県、合計22物件）において、通常夜間に点灯させる施設外壁サイネージ（MFLP/MFIPサインの照明）の消灯を行ないます。

本取り組みは、一般社団法人不動産協会 物流事業委員会の呼びかけによりスタートし、同委員会参加企業のうちアースデイの趣旨に賛同した各社にて連携し実施しております。

《対象物件》

MFLP 横浜港北
MFLP 平塚II
MFLP 厚木II
MFLP 川口I
MFLP 八潮
MFLP 横浜大黒
MFLP 日野
MFIP 羽田
MFLP 八千代勝田台
MFLP 市川塩浜II
MFLP 船橋I
MFLP 船橋II
MFLP 船橋III
MFLP 平塚III
MFLP 新木場II
MFLP 座間
MFLP 稲沢
MFLP 弥富木曾岬

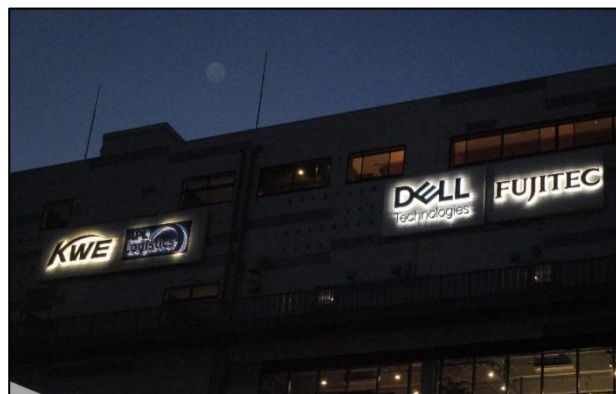
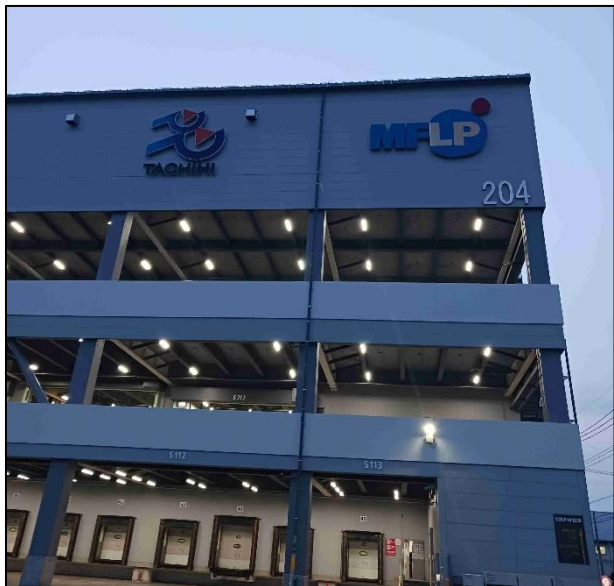
MFLP 大阪交野

MFLP 堺

MFLP 広島 I

MFLP 立川立飛

《写真》



■三井不動産の物流施設事業について

当社は、2012年4月にロジスティクス本部を立ち上げ、本格的に物流施設開発に取り組んでおります。現在では、「三井不動産ロジスティクスパーク（MFLP）」を旗艦ブランドとして、国内外開発施設は66物件、総延床面積は約536万㎡（タイ、マレーシア、アメリカ含む）となり、今後も積極的に事業拡大を図ってまいります。

また、「ともに、つなぐ。ともに、うみだす。」を事業ステートメントとして掲げ、入居企業の皆さまの課題解決パートナーとして、多種多様なヒト・モノ・コトをつなげることで、既存の枠にとらわれない価値づくりに挑戦してまいります。